

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ The Future We Want

Name : 柳川 優斗

Age : 11才

Date : 5月7日

こんにちは、柳川優斗です。地球をよりよくするために考えてみました。ぼくが望む未来は平和な未来だ。どこかの国が何か大きなことを始めれば、世界も変わっていくと思うから、日本を変えていきたいと思う。ぼくがめざす日本は、平和で持続可能な国だ。平和とはなんだろう。3つあると思う。1つめは、食料の面での平和だ。食料をえることができるので、栄養をとることができて成長していけるから平和だと思う。また、水を飲むことは大切できれいな水があることは安心できて、豊かという点からも平和だ。2つめは、公害の面での平和だ。祖母から聞いたが祖母のお母さんが大人のところ水俣病が流行してみな苦しんでいたそうだ。つまり、公害は、人々を苦しませ、ときには、命までうばうとでも恐ろしいものだ。だから、公害のない国はとて平和といえると思う。3つめ

\*\*\*\*\* The Future We Want

は、戦争、紛争の面で"の平和"だ。もちろん、戦争や紛争が起きていて平和と思う人はいないと思う。なぜなら、戦争、紛争は殺し合いのことだと思うからだ。ぼくは戦争、紛争が起きている理由は3つあると思う。1つめは、政府の政治への反乱だと思う。2つめは考え方のちがいがから生まれた争いだと思う。3つめは資源が乏しい国の資源獲得のためだと思う。つまり、戦争、紛争のすなわち、殺し合いがなくなれば平和になると思う。殺し合いのどこが悪いのでしょ、不思議だ。さて、ぼくがやろうと思っていることは2つある。1つめは使い捨てをしないことだ。なぜなら、資源の少ない日本で使い捨てをしているとますます、資源が減ってしまうと思うからだ。使い捨ての象徴的なものは、わりばしや、使い捨てマスクだ"と思う。だからぼくはあまり使い

\*\*\*\*\* The Future We Want

捨てるものは使わないでいきたい。すつめは、物を大切に使うことだ。もし、ごんぼうに使ってしまうとこわれてしまい、使い捨てるのものと同じ結果になってしまう。だから、ぼくは、ものをふりまわしたり投げたりせずにそのものの本来の目的にあった使用方法で使っていきたい。持続可能とはなんだろう。国内でまかなっていくことだと思う。けれども、国内でまかなえないものもあると思う。国内でまかなえないものとは、国内で生産できないものだと思う。これは、大きく2つに分けられる。食料と燃料だ。まずは食料の方から考えていく、国内でほとんどもしくはなににも生産されていないものとして、小麦や大豆、トウモロコシなどだと思う。このような食べ物は国内で生産できるもので補うことが可能だ。もし、独特な栄養素をもったものがあつたら、分析して似たものを食べる

\*\*\*\*\* The Future We Want

のか、それとも、品種改良で新たなものを  
つくり出すのか、どちらかだと思  
う。次は、燃<sup>カ</sup>料についてだ。国内であま  
りとれない代表的な燃<sup>カ</sup>料 石油。今は  
エネルギー源の代名詞でもある。今日本  
でも、石油製品すなわち石油でつく  
られた製品が流通している。一見、な  
いとも困るように見えるが本当にそ  
うなのだろうか。石油製品の一つの  
ゴム。ゴムはタイヤなどに使わ  
れている。しかし、食べ物なら、輸  
送しないで得る方法はないだろうか。  
ある。おそらく、地産地消を行えば石  
油の使用量は減るだろう。つまり、石油製  
品は、便利なかだけで、他のものでも  
代用できるものがほとんどなのだ。  
次は農業について考える。今日本は  
食料自給率は低い。農家が少な  
いからだ。その理由は5つある。一つ  
めは日本は山国なので農業に使用

\*\*\*\*\* The Future We Want

できる土地が少なく、手に入りにくいからだ。2つめは、農業の場合天候に大きく左右され収入が安定しないからだ。3つめは、農業より工場の方が収入が多いからだ。4つめは農業だけで生計を立てることが難しいからだ。5つめは、外国産商品に市場競争で負けてしまうからだ。この問題を一つでも解決する方法として、食料単価段を上げるということだ。なぜなら高く売れないので、収入が低く工場の方に働き手が集ってしまう。今、勧めたことを全て行えば日本はとてもしりり国になり二酸化炭素排出量もヘリ、平和で持続可能な国になると思う。日本の変化をきっかけに世界が変わっていったら幸いだ。